

【No. 1】 個人及び社会のニーズの変化を説明する仮説として、A・マズローの欲求 5 段階説が挙げられるが、次のうち、最も高次元の欲求とされているものはどれか

1. 人から愛され、集団から疎外されたくないという欲求
2. 人から認められ、尊敬されたいという欲求
3. 自分の能力を引き出し、創造的活動がしたいという欲求
4. 自分の住居などの安全、安心な状態を得ようとする欲求

答. 3

【No. 2】 2005 年より提唱されている「クールビズ」に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 夏でも涼しい軽量ジャケットが発売された
2. 有名ブランドが夏のビジネスウェアとして発表した
3. ノーネクタイでも下着のシャツが見えない、深いVネックの肌着が発売された
4. 携帯音楽プレイヤーを収納できるポケットを裏側につけたネクタイが発売された

〔解説〕「クールビズ」とは、夏の軽装運動の名称 [2005 年 4 月 7 日実施] (環境省)

答. 4

【No. 3】 平成 18 年の「まちづくり三法」の見直しは、中心市街地の賑わいを回復する「コンパクトシティ」を念頭においたものといえる。  
次の語句のうち、コンパクトシティ推進の背景として最も不適当なものはどれか。

1. 市街地のドーナツ化現象
2. 待機児童の増加
3. 少子高齢化の進展
4. インフラ維持の財政負担増

〔解説〕「コンパクトシティ」は今後の都市政策上の重要なテーマであり、社会経済問題との関連を問うものである。

【No. 4】 照明に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 光の色を表わす色温度について、青みがかった光源の光であればあるほど、色温度数値が低い
2. 光源の種類は照明の光の明るさを決定するので、用途目的に合致するように選択するのが重要である
3. 東京スカイツリーのライトアップは、光の主波長の変化で色が変わることを充分配慮して決定される
4. 光は、様々な波長で構成される光源からの放射エネルギーで構成されている

答. 1

---

【No. 5】 今回の東日本大震災での仮設店舗の役割に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 多くの店舗が被災したなかで、仮設店舗の役割は大きい
2. 仮設店舗は、仮設住宅に住む人にとって大切な交流の場でもある
3. 仮設店舗は、ボランティア団体の主催する店舗のことをいう
4. 様々な店舗を一か所に集め、人々の利便性に応えようとしている

答. 3

---

【No. 6】 無店舗販売に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ベネッセコーポレーションの通信講座、通信教育は、無店舗販売の分類には入らない
2. インターネット通信販売額は年々増えており、全国の百貨店売上げ合計を上回る金額になっている
3. 携帯によるモバイル通販は、特にスマートフォンの普及が影響し伸びている

4. 無店舗販売には、自動販売機による販売、産地直送、化粧品等の訪問販売も含まれる

答. 1

---

**【No. 7】** 買い物弱者に関連する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 住人の減少により、公共交通網の弱体化が進んだ地域がある
2. 移動手段を持たない一人暮らしの高齢者が増加している
3. 郊外のSCやロードサイドショップの影響で、徒歩で行ける小さい店が減少している
4. 都市部では、過疎地と比べ問題が少ない

〔解説〕 65歳以上の独り暮らし高齢者 高齢者人口の20%に増加

答. 4

---

**【No. 8】** 近年増加を見せている農産物直売所の動向に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 農家が直接納品することで、生産者と消費者を結びつけ、農家には現金収入を、消費者には生産者の顔が見えることでの安心感を提供する業態となっている
2. 農家が直接農産物を持ち込み、売れ残った農産物の撤去も農家が直接行うところが多い
3. 国土交通省の進める道の駅事業による市町村の道の駅設置にともない、地元の農産物の販売を行う施設として急速に拡大した
4. 店舗自体の運営管理は、基本的に金銭管理のみで成り立っている

〔解説〕 農家に運営を任せているような農産物直売所は少なく、一定の計画に基づいた商品計画や店頭では農産物の傷みなどを把握して、積極的に農産物の入替を行っており、また、売れ行きを踏まえて、農家へ農産物の補充を依頼するなどの積極的な経営を行うところが売上を大きくしている。

答. 4

---

【No.9】色に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. トーンとは色調のことである
2. 色の三属性は、明度・彩度・色相である
3. カラーマーチャンダイジングとは店舗の内装の色を統一することである
4. 有彩色とは色味のあるすべての色のことだが、黒色は含まれない

〔解説〕 カラーマーチャンダイジングとは売り場での色展開に的をしぼった商品政策のこと。

答. 3

---

【No.10】建築基準法に基づく「シックハウス」や「VOC」に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 住宅や店舗などの内装仕上げで「F☆☆☆☆」の材料を使用した場合、規制では内装仕上げ材を床面積の3倍まで使用できる
2. 「VOC」は揮発性有機化合物で光化学スモッグをおこす原因の一つである
3. シックハウスの原因の一つにクロルピリホスがある
4. シックハウスの原因の一つにホルムアルデヒドがある

〔解説〕 「F☆☆☆☆」は規制対象外で制限なし

答. 1

---

【No.11】環境ラベルに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 製造時に自然エネルギーを使用したマーク



2. 環境保全に対する取組みを環境大臣に約束した企業に与えられるマーク



3. 無秩序な森林伐採等を抑制し、適切な木材を使用した製品や企業に与えられるマーク



4. 対外的にエコ商品として自社商品に独自につけるマーク



〔解説〕「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通じて、環境保全に認められた商品に対してつけられる環境ラベル

答. 4

---

【No.12】「ロハス」に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 家庭等で枯渇エネルギーを抑えて、「省エネ」を心がける生活スタイル
2. 「健康」と「地球環境の維持」にやさしい生活スタイル
3. 「自然食」や「無添加の食品」を基本とする食の生活スタイル
4. 都会から田舎暮らしに移り、「自給自足」や「ゆったり」とした生活スタイル

答. 2

---

【No.13】防災・安全の設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか

1. 地震対策として火災の発生防止、物品等の落下・転倒防止、避難経路の確保などがある
2. 施設の安全性には、構造耐力、防火耐火、避難、衛生などの視点から考える必要がある

共通問題

3. 地震の規模をあらわす単位としてエネルギー量から「震度」、被害状況から「マグニチュード」を用いる
4. 安全計画とは日常生活の維持、事故拡大防止を考慮し、施設の使い方を計画することである

〔解説〕「震度」は被害の大きさを考慮して付ける。「マグニチュード」はエネルギー量を示す。

答. 3

---

【No.14】 日本建築の風土的な特徴に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大陸に比して温暖な気候は、豊富な木材を利用した木造建築を発達させた
2. 夏季の高温多湿な気候は、通風を重視した開放性の高い建築を発達させた
3. 木構造の柱と梁による架構方式は、面的で重厚な建築デザインを発達させた
4. 通風のための大きな開口部は、内部空間と外部空間を微妙に連続させる建築デザインを発達させた

〔解説〕木造の柱梁架構方式は、むしろ直線的で軽快なデザイン

答. 3

---

【No.15】 複合商業施設に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 市場調査は、担当者の戦略的思考を加えることで価値があがる
2. 工事区分は、テナントとの財産区分を明確にするためのものである
3. 商業施設の設計者・施工業者は、見積り金額と実績、人物評価で選定する
4. 商環境デザインの役割は、コンセプトを視覚を通して訴えることである

〔解説〕市場調査は調査する人の独断を加えてはいけない

答. 1

---

【No.16】 監理業務に関連する技術動向に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. LCC（ライフサイクルコスト）とは、建物にかかる生涯コストのことであり、企画・設計に始まり、工事、運用を経て解体処分するまでの生涯に要する費用のことである
2. ISO9001とは、品質保証モデルを規格化するためにつくられたマネジメントシステムである
3. ISO14001「環境マネジメントシステム」により、地球環境の悪化防止のため産業廃棄物の排出及び処理基準を定めている
4. CALSとは、他の組織・機関との情報交換や共有を円滑にするため情報の電子化を行うことである

〔解説〕 産業廃棄物の排出及び処理方法は、廃棄物処理法により定められている。

答. 3

---

【No.17】 建材の一般的な呼称と名称の組み合わせに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ベニヤ ----- プライウッド
2. みかげ石 ----- 大理石
3. ALC ----- 高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリート
4. FRP ----- 繊維強化プラスチック

〔解説〕 みかげ石は大理石でなく花崗岩

答. 2

---

【No.18】 環境や安全への配慮に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度は、工場や建設現場などから排出される産業廃棄物の処理に際して、廃棄物の不法投棄等を防ぐための制度である
2. PL法（製造物責任法）とは、製造物の欠陥による事故により、怪我、死亡、火災等の損害を受けた場合に、被害者は販売業者などに対して損害賠償を求めることができるという被害者救済を目的とした法律である
3. 安全管理の目的は、工事の安全を目指すことにより、工事の原価を確保することにある

共通問題

4. 瑕疵担保責任とは、施工者の工事に欠陥があった場合に、施工者は発注者および監理者と協議し、工事全般に瑕疵の調査を行う義務のことをいう

答. 1

---

**【No.19】** 建具工事に関する次の用語の組合せのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 金属製建具 ----- シリンダー
2. 自動ドア ----- 強化ガラス
3. 木製建具 ----- ドアクローザー
4. 自閉式上吊り引戸 ----- ピボットヒンジ

〔解説〕引戸にピボットヒンジは使用しない。

答. 4

---

**【No.20】** ビッグデータを活用した業態開発に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「ビッグデータ」とは、爆発的に増殖するデジタルデータを集積した膨大な情報のことで、高速に整理・保管し、分析して活用することができるようになり、新しい資源として注目されるようになっている
2. 携帯電話やスマートフォンなどから得られる情報がビッグデータに蓄えられ、大型商業施設などの防災対策に生かす検討がされている
3. コンビニエンスストアのポイントカードに登録された会員情報と買い物履歴のデータから、商品開発や商品の品揃え、陳列や棚配置等の最適化に活用されている
4. 地域の拠点病院において、患者の日常生活習慣や家族構成、健康状態などの情報を集積分析し、薬局でのサービスの充実に応用している

〔解説〕日本では、医療の守秘義務と個人情報保護法により、医療機関で集まった情報を活用することは難しい。法整備が出来ていない。

答. 4